

春もやや 景色ととのふ 月と梅

芭蕉



会社の庭の梅の木には、梅の花が咲いており、
例年通り、春の訪れを告げていました。

1693年（元禄6年）芭蕉 50歳の時の句です。
1月に月光のおぼろと梅の花のほころびで
春の気配がだんだんと整う様子を詠んだ句です。
厳しい冬の寒さも和らぎ、ようやく春の暖かさを
五感で感じる季節となりました。

